

今回は自ら輝いている4人の女性にスポットを当ててみました。

「町」を素敵 改造計画中!!

森圭子さん(65歳)
岡田早百合さん(35歳)
親子



取り組んでいる内容

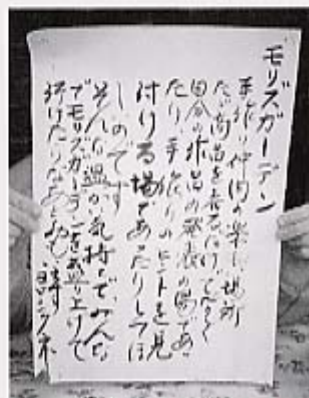
手作りのお店をやっています。自分自身も制作しながら、作品を提供して下さるみなさんのお手伝いもしつつ、手作り教室やフリーマーケットなども開催しています。

きっかけが、なかなかつかめない人にアドバイス

まずは外に出ること。はじめから出来ないと思いつまないうで、やってみることで。

何か、目標があれば・・・

自分の町をもっと楽しいところになりたい。たとえば、自分が作ったトールペイントで飾ってみたり、味気ない看板や冷たい印象の注意書きなどをそれぞれの場所に合った感覚でデザインしてみたいです。この町の人は、とってもいい人ばかりなので、みんなと楽しくやっていきたいと思っています。



明るく楽しく 仲間とともに

分藤一子さん(60歳)
津留女性の会 会長

今までしてきたこと

専業主婦でしたが、10年前に地域の方から交通安全協会の仕事を頼まれ引き受けたのがきっかけで、その後津留体育協会や女性の会、婦人学級と地域のお世話をさせていただいております。

活動を通し感じた事は

責任の重みを感じます。専業主婦だった頃は自分中心で気楽な生活でしたが、仲間と何かをしようと守らなければならないことや、いやなことと言わなければならない時もあります。

男女共同参画社会について

私は古い人間ですから、女性は少し控えめにしている方が、良いと思っています。しかし、意見はしっかり持ち、発言しますが、雰囲気や和ます上で女性らしい心遣い、気配りは必要と思っています。仕事では、今不景気の風が吹いています。男だから、女だからといって仕事を決められていたら生活が出来にくい世の中だと思います。今からは、社会でも家庭でも男女関係なく自分の好きなことをして生きて良いのではないかと思います。

平成11年度大分市国内派遣事業「日本女性会議」報告 日本女性会議'99はままつ



▲左から田辺さん、松本さん、白根さん、吉武さん

「男女共同参画社会基本法」が制定された平成11年10月1日・2日の両日に渡って、第16回日本女性会議「日本女性会議'99はままつ」が静岡県浜松市で開催されました。初日は迫力のある30台のピアノ演奏に始まり、「新しい国際社会と女性のエンパワメント」と題した猪口邦子さんの基調講演、8つに分かれて意見交換し合う分科会などが行われました。日付が変わった2日目も、初日の熱は冷めることなく「女と男がともに築く21世紀～男女共同参画社会への道標～」と題された全体会が実施されました。

全体会では、主に少子高齢化、国際化、情報化など社会の急激な変化の中でどのように生きるべきか、専門家の方々による楽しいエピソードを織り交ぜながらのパネルディスカッションが行われました。大分市からも4名の女性が代表で参加され、感想からもこの2日間の充実振りは思い知る事ができます。その熱い2日間をまとめた「平成11年度大分市国内派遣事業日本女性会議報告書」は女性政策推進室にてご覧いただけます。現場には及ばないかもしれませんが、この報告書を通して、皆様にも「真の男女共同参画」を考えるきっかけを持っていただければ、と思っております。



中央が畔津さん

座右の銘は 「一期一会」 です

畔津三子ルさん(59歳)
料理・裏千家茶道講師

現在している活動は何ですか

結婚前に栄養士をしていました。結婚後は専業主婦をしていましたが、大分に料理学校ができ、そこで教えて欲しいと頼まれたので、週3回ほど教えにっていました。同じ時期に好きなお茶も習いはじめました。子育ての中で、PTAの役員をたのまれ、地域の公民館と係わる機会がふえました。大分の料理学校の講師をやめてからは、PTAの役員で知りあった公民館の方にたのまれ、地域の子どもの料理教室、男性の料理教室やふれあい料理教室、一人暮らしの老人を招いて、などを行っています。

将来の夢は

料理教室は60歳でも定年はありません。健康であればいつまでも続けていけることだと思います。60歳からもっと輝いていけると思うし自然体でやっていきたいと思っています。

男女共同参画社会について

私は家でも、なるべく何でもさせようと思ってさせてきました。できることは、みんなですればいいと思っています。家から出てどこでもいいから人と話をする事です。またそれを良い方向にもっていけばいいのです。